

経営革新賞

(有)福島熔材工業所

福島市南町251の1
渋谷修一 代表取締役社長
昭和18年創業

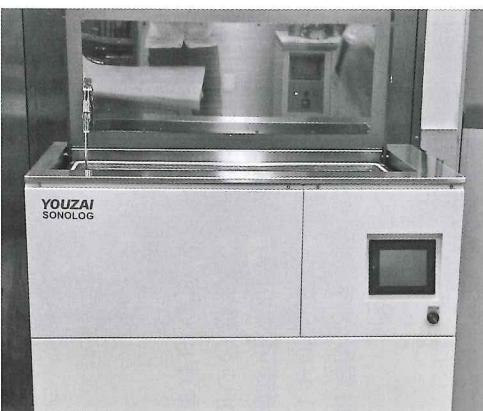
◇企業特色

アーチ溶接棒製造メーカーとしての基本技術を応用した精密溶接技術をメインに、医療用・半導体工業用・電子機器の鏡面処理を中心とした高精度機器の設計製造を行っています。

◇ここが受賞のポイント

- 医療機器製造業への参入

平成25年、得意とする溶接や機械加工技術を生かせる医療機器の開発に着手。平成29年7月には、医療機器製造販売業許可を取得し、一般医療機器としての安全性認証取得に向けて取り組んでいます。



新たに開発した超音波洗浄装置

○福島市にドローン生産拠点を

平成26年からは、福島市に産業用ドローンの生産拠点を設ける活動に取り組み、地元中小企業連携による機体生産体制を整備。同社は、その中核機関としてオール福島体制で復興に向けた積極的な活動を展開している。

◇企業特色

アーチ溶接棒製造メーカーとしての基本技術を応用した精密溶接技術をメインに、医療用・半導体工業用・電子機器の鏡面処理を中心とした高精度機器の設計製造を行っています。

◇ここが受賞のポイント

- 医療機器製造業への参入

平成25年、得意とする溶接や機械加工技術を生かせる医療機器の開発に着手。平成29年7月には、医療機器製造販売業許可を取得し、一般医療機器としての安全性認証取得に向けて取り組んでいます。

環境改善賞

コバックス(株)

福島市鳥谷野字扇田29の1
小林仁一 代表取締役
平成2年創業

◇企業特色

各種住宅や施設等のさまざまな設備設計や工事施工管理業務に有資格者が誠実に対応。省エネ・再生可能エネルギーの社会シフトに貢献するため、地域密着型の提案を進めている。

◇ここが受賞のポイント

- エコ設備導入の？を！に

省エネ化に関する補助金や優遇税制は複雑。同社は最新の情報と地域密着企業ならではの立場をフルに發揮し、わかりやすい情報発信に努めている。福島市の実情に即した提案が出来るのは地元企業だからこそ可能。



光熱費ゼロのヒートパイプ融雪で冬道も安心

○県内各地で環境負荷低減を提案

平成30年1月に移転開院した大原綜合病院。正面玄関前には、同社の提案が採り入れられた。

◇企業特色

集められた地中の熱は、動力なしのヒートパイプを伝つて道路上面に集められて舗道の雪を融かし、来院者に安全な足元を提供する。

●福島市医産連携研究会会長として
平成25年に発足した研究会では、
自社の経験や知識を生かし、市内企
業の医療分野参入に関心のある企業
や研究会員の取りまとめを行ってい
る。

●本社社屋が省エネモデル
平成29年3月に鳥谷野へ移転し
た本社は、高断熱気密化やLED
をフルに導入。社屋をモデル展示
場として顧客に具体的な提
案をしている。

地下と舗道の温度差が動力源と
なることからランニングコストは
ゼロ。
環境負荷低減だけでなく、費用
面の負担が少ない提案を県内企業
に多く展開し、福島のエコ社会の
創造に大きく貢献している。

独自の創意工夫、高い地域貢献への意識で福島をけん引

平成29年度 優良会員事業所表彰制度 受賞企業のご紹介

当所では、経営意欲を高め、地域経済の活性化を図ることを目的として、環境改善や地域貢献などを積極的に推進している会員事業所を顕彰する「優良会員事業所表彰制度」を平成17年度から実施しています。

制度スタートから10年の平成27年度に表彰基準を見直し、これまでに市内で優れた活動をされている100事業所を表彰してきました。

3月28日、平成29年度の優良会員事業所表彰制度を受賞された企業5社をたたえる式典を開催しました。

今月の特集は、特色ある各社の取り組みをご紹介します。



受賞された5社の代表

(前列左から) コバックス(株)・小林社長、(有)福島熔材工業所・渋谷社長、㈱クラロン・田中会長、渡邊会頭、渋谷レックス(株)・渋谷会長、トーホー産業(株)・守山会長

◇平成29年度優良会員事業所表彰制度

主催: 福島商工会議所 主管: 中小企業振興委員会

共催: 福島市

後援: 福島県・東邦銀行・福島銀行・福島信用金庫・福島民報社・福島民友新聞社・日本経済新聞社福島支局・日刊工業新聞社福島支局

応募・推薦基準は
当所ホームページで
公開しています。

技術で築く信用と信頼

大槻電設工業株式会社



本社 福島市鎌田字卸町13番地7 ☎960-0102

支店 仙台・郡山 ☎024(573)1651(代) FAX024(573)1652

営業所 会津・二本松・伊達

地域貢献賞

株式会社クラロン

福島市八木田字並柳58
田中須美子 代表取締役会長
昭和31年創業

企業特色

みんなが望む健康、みんなに優しいスポーツウェアづくりの専門メーカー。少子高齢化を見据えて介護現場に求められる機能性ウエアのニーズも取り込む。自動化を進める一方、手仕事をバランス良く残した製品が東北、北関東、新潟各地の学校に届けられている。

応援のポイント

○「日本でいちばん大切にしたい会社」人を大切にする経営学会・坂本光司会長がまとめた企業として県内唯一の受賞。厚生労働大臣受賞企業であり、経済産業省の「平成28年度 新・ダイバーシティ経営企業100選」も福島県内で初めて受賞した。また、社会貢献支援財団の「平成29年度社会貢献者表彰」も受賞した。

80代でも希望すれば正社員

従業員の平均年齢は48歳。定年

は60歳だが、本人の希望があれば1年ごとに更新し、正社員として雇用し続けている。80歳以上が1名、60歳以上が20名在籍し、最高齢の81歳女性は営業課長。

女性管理職比率56%

従業員132名のうち女性は100名。18名の管理職のうち女性は10名。国が定める女性管理職の目標値は3割。女性のちょっととした思いやりを生かせる企業風土づくりにまい進している。

障がい者の個性を思いやる社風

国が定める障がい者の法定雇用率は2・2%。同社は34・8%に達する。障がい者の個性を見極め、やる気と能力を發揮させる社風が根付いている。



女性、健常者、障がい者が分け隔てなく活躍する工場

老舗問屋として主にお菓子を中心として福島の「食」を支える。消費者の目線を大切にした菓子売り場における各種提案からお客様が求める自社商品の開発まで幅広く対応。

ここが受賞のポイント

○オリジナルブランドの充実

平成11年、オリジナルブランド「なつ菓子屋」を立ち上げ。平成26年に豆と塩だけで作ったお菓子ブランド「ポンクリスピ」は、ヘルシー志向のアメリカ市場がターゲット。

風評払拭に向けて海外販路を開拓

東日本大震災後、中国に売り出されたための商品開発に着手し、中国・大連に進出。現在は中国、香港、タイ、ベトナム、シンガポール、マレーシアに輸出。

福島初の総合貿易商社をめざして

平成29年、輸出商品開発、販路開拓、セミナー、勉強会開催など

「福島県の大和魂（商品）を世界に届ける」という「コンセプトのもと「合同会社福島越境コンソーシアム」（桑折商事倉庫㈱、渋谷レックス㈱、トーホー産業㈱、会津喜多方グローバル俱楽部で構成）を立ち上げ、福島県内の中小企業が海外に挑戦するサポートを支援している。

企業特色

コンソーシアムの支援は、輸出の注意点の解説、商品、成分、味覚などに関する相談などに対して同社のノウハウを惜しみなく提供している。

ノウハウを惜しみなく支援提供

に届ける」という「コンセプトのもと「合同会社福島越境コンソーシアム」（桑折商事倉庫㈱、渋谷レックス㈱、トーホー産業㈱、会津喜多方グローバル俱楽部で構成）を立ち上げ、福島県内の中小企業が海外に挑戦するサポートを支援している。

選考を終えて

トーホー産業株
福島市鳥谷野字芝切23
守山勝雄 代表取締役会長
昭和52年創業

企業特色

お客さまが求める包装資材をスピード的に提案。生鮮品、加工食品だけでなく、園芸・工業用品、さらには工場等の器具や機械に至るまで、守る・見せる・伝える包装用品の守備範囲は幅広い。

応援のポイント

○包装の未来をお客さまと共に考える
同社の取り扱い品は、非常に幅広く二、三様。それに応えるため包装資材専門の企画室を設置し、付加価値の高いパッケージ企画・デザイン・納品までスピードに対応している。

シンガポールで包装の未来サポート

平成25年には、シンガポールに包装資材卸売を展開する現地法人を開設。同国に進出する日本企業のサポートを行っている。

事業所近隣の美化活動を率先

本社のある鳥谷野地区では、近隣事業所を巻き込んだ清掃活動を

全国レベルで活躍するソフトボールチーム

同社ソフトボールチーム「トーホードリームス」は、全日本一般男子ソフトボール大会において全国大会に12回出場し、準優勝1回、第3位2回の優秀な成績を残す強豪。ソフトボールプレイヤーなどの地域の雇用確保にもつながっている。

優良会員事業所表彰制度を主管している中小企業振興委員会の大槻博士委員長（写真）に、今回の選考を終えた感想を伺いました。

本制度は、時流に応じて内容を柔軟に変化させてきました。起業された方々の後押しだけでなく、最近では人や社会を大切にする取り組みなど、企業が忘れてはならない要素にも注目するようになっています。

福島の人は、引っ込み思案というか、恥ずかしがり屋さんが多い。一方で私たちだけでは、商工会議所4,000会員の皆様がどんな取り組みをされているか把握できません。後援・推薦いただいた金融機関に感謝申し上げます。

どの企業も福島に根付いた商売をされています。そして、地域になくてはならない存在になっています。その根幹は、人財そのものであることを強く感じた選考となりました。性別や年齢に関係なく才能を開花できることを誇らしく思う半面、自身に何ができるのか問われた場面もあ

りました。人財確保が最大の経営課題となっている事業所は多いと思います。でも、賃上げや待遇改善は対処療法にはなっても、根本的な解決にはなりません。一番は人間らしく働くことができるかどうか、言い換れば人生の記憶に残る仕事・チャンスを、企業が社員に対して提供できることかどうかではないでしょうか。

表彰された企業に親が勤めている子どもは、きっと誇りに思うでしょう。私たちが光を当てるお手伝いしますので、まずは応募していただきたいと思います。

今回の選考で印象に残ったのは、若い世代の連携です。親の苦労を見て育った30代、40代の世代が新たなことに挑戦する姿に出会いました。うことは苦労の連続だと思います。異分野や海外進出であればなおのことです。商工会議所は、若手世代が得た知恵や経験を、地域全体の大きな財産として活用できるような仕組みをつくっていけたらよいと思いま

す。

大槻電設工業㈱ 代表取締役。同社は平成29年12月、経済産業省の「地域未来牽引企業」に認定された。

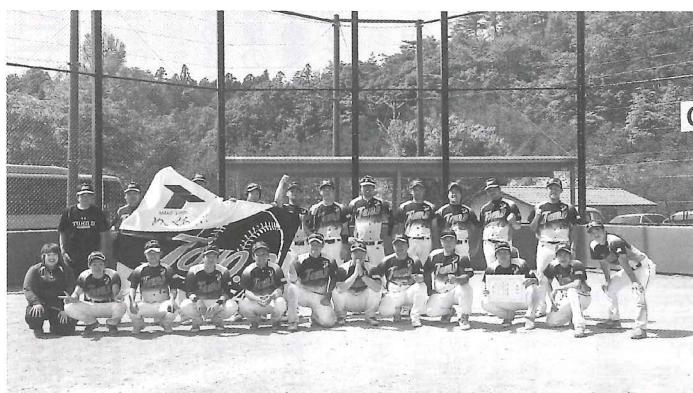
10年近くにわたり全社員で実施している。

太委員長（写真）に、今回選考を終えた感想を伺いました。

本制度は、時流に応じて内容を柔軟に変化させてきました。起業された方々の後押しだけでなく、最近では人や社会を大切にする取り組みなど、企業が忘れてはならない要素にも注目するようになっています。

福島の人は、引っ込み思案というか、恥ずかしがり屋さんが多い。一方で私たちだけでは、商工会議所4,000会員の皆様がどんな取り組みをされているか把握できません。後援・推薦いただいた金融機関に感謝申し上げます。

どの企業も福島に根付いた商売をされています。そして、地域になくてはならない存在になっています。その根幹は、人財そのものであることを強く感じた選考となりました。性別や年齢に関係なく才能を開花できることを誇らしく思う半面、自身に何ができるのか問われた場面もあ



全国の強豪相手に活躍する「トーホードリームス」